



多くの来場者でにぎわう大館圏域産業祭（ニプロハチ公ドーム）

大館圏域産業祭が開幕

きょうまで
79社・団体が出展

第26回大館圏域産業祭が26日、大館市のニプロハチ公ドームで開幕した。「地域の活力を未来へ」をコンセプトに、大館市や小坂町などから農商工業や教育関係の79社・団体が出展。自社製品の展示や地場産品の販売、体験コーナーを開設し、家族連れらでにぎわった。27日まで。

（8面に関連記事）

地域の活力未来へ

農業展の農林産物共進会には水稲・雑穀40点、野菜271点、果樹96点、花卉かき54点の計461点、学校農園展には20点が出品。直売コーナーでは新物のトンプリや土付きネギなどが人気を集めた。

商工展では各企業の製品展示や販売、飲食の販売、フリーマーケットが行われた。田代製作所（大館市）は製造する木製ドアを展示したほか、製造工程で出る端材を利用して作ったスマートフォンスタ

ンドをプレゼント。住宅メーカー・みらいえ工房（同市）は建材の端材を活用して表札作りなどの体験を提供した。企画展の「創業応援コーナー」では、釣り具メーカーなど4事業者が地域にアピールした。

産業教育展には地元の学校、企業、福祉施設などが出展。秋田職業能力開発短大は約20分の線路を設けてミニ鉄道を走らせ、子どもたちが楽しんでた。ステージイベントには8団体が出演。長木小児童

は「みなさんに元気を届けた」と話し、エゾタンポポ体操と鳳凰太鼓を披露し会場を盛り上げた。

大館市、大館商工会議所、JAあきた北などでつくる運営委員会（委員長・石田健佑市長）主催。開会式で石田委員長は「いろんな地域の魅力や技術に触れていただき、大館の未来を感じてほしい」と述べた。

最終日は午前9時30分から午後3時まで。同時開催イベントとして、タクミアリーナ

で「KIDSおしごとランド大館」、「デジタル未来ふれあいフェス2024」が開かれる。